

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2016-226278 (P2016-226278A)

【公開日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-070

【出願番号】特願 2016-106538 (P2016-106538)

【国際特許分類】

H 0 2 K 3/50 (2006.01)

H 0 2 K 3/38 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 3/50 A

H 0 2 K 3/38 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 27 日 (2019.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガイド部材本体と、

前記ガイド部材本体の上面に設けられる複数の隔壁と、

前記隔壁の内側から突出して形成される振動防止パターン；と

前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも 1 つ以上備えることを特徴とする、モータ用ガイド部材。

【請求項 2】

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記隔壁の内側で相互対向する位置に配置されて、少なくとも一対以上を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 3】

前記振動防止パターンは、

前記ガイド溝の全幅  $d$  の  $1/3d$  以下の幅を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 4】

前記傾斜部の傾斜角が鋭角であることを特徴とする、請求項 1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 5】

前記振動防止パターンの突出部の尖部がラウンド構造であることを特徴とする、請求項 1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 6】

前記振動防止パターンが弾性部材であることを特徴とする、請求項 1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 7】

前記振動防止パターンの一端は前記隔壁の内側と接触し、

前記振動防止パターンの他端は前記隔壁の内側と離隔されることを特徴とする、請求項

1 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 8】

前記他端は前記ガイド溝の深さ方向に行くほど離隔部の幅が広くなることを特徴とする、請求項 7 に記載のモータ用ガイド部材。

【請求項 9】

複数のトゥース(tooth)を有するステータコア；

前記ステータコアの前記トゥースに巻線される複数のコイル；と

前記複数のコイルが配置されるガイド部材を含み、

前記ガイド部材はガイド部材本体、前記ガイド部材本体の上面に配置される複数の隔壁、前記隔壁の内側から突出形成される振動防止パターン及び前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも 1 つ以上備え、

前記コイルは、前記ガイド溝内に配置されることを特徴とする、モータのステータ。

【請求項 10】

ハウジングと、

前記モータハウジング内側に設けられるステータと、

前記ステータの内側に回転可能に設けられるロータを含み、

前記ステータは、複数のトゥース(tooth)を有するステータコアと、前記ステータコアの前記トゥースに巻線される複数のコイルと、前記複数のコイルが配置されるガイド部材を含み、

前記ガイド部材はガイド部材本体、前記ガイド部材本体の上面に配置される複数の隔壁、前記隔壁の内側から突出形成される振動防止パターン及び前記隔壁によって前記複数の隔壁の間に形成されるガイド溝を含み、

前記振動防止パターンは、前記ガイド溝を形成する前記ガイド部材本体の上面と傾斜角をなす傾斜部少なくとも 1 つ以上備え、

前記コイルは、前記ガイド溝内に配置されることを特徴とする、モータ。